
2017 年度 事業報告書

特定非営利活動法人
アントレプレナーシッ
プ開発センター

〒604-0866
京都市中京区西方寺町 160-2
船越メディカルビル 3F
TEL:075-468-8907 FAX:075-468-8908

アントレプレナーシップ開発センターが目指すもの:

アントレプレナーシップ溢れる人材育成と社会の実現

目次

はじめに.....	1
2017年度 活動報告	2
2017年度 決算報告	2

はじめに

今年、当センターが本事業を開始してから 20 年目の年となり、記念事業として、「堀商キッズチャレンジ」と「キッズベンチャータウン～子どもが創る起業村～」の 2 つの事業を試験的に実施いたしました。

「堀商キッズチャレンジ」では、堀川商店街を活動の場に、小・中学生が町の賑わいづくりに貢献する仮想会社「堀商キッズ社」を設立し、地域の人と交流するお祭りイベントを開催したり、若い人向けのお土産を作って販売したり、CM 動画や地図を作成したりして、子ども達が主体になって地域の魅力発信活動を行いました。「キッズベンチャータウン」では 10 年後どんな仕事が必要になるかを子ども達が考え、新しいベンチャー起業が集まる村を「トレードフェア」にて開催し、多くの方にお越し頂きました。両事業ともに、参加者から高い評価を得たことから、2018 年も継続実施する予定です。

また、その他の事業も計画通り、行うことができました。2014 年から行っております「日本とインドネシアの若手ソーシャルリーダー育成・交流事業：Gerakan Mari Berbagi(共に分かち合おう)プログラム」では、アグン山の爆発で避難住民が出ていたバリのスラット村にミニ図書館を設置するための資金調達活動を行い 16 万円の寄付を致しました。寄付者には、過去に当センターのプログラムに参加し、今は社会人として活躍している若者も多く、卒業者の成長を感じる機会となりました。そして 2 月中旬には、インドネシアから 7 名の研修生が来日し、ホームステイしながら各自の研修先に 1 月間勤務し、またとない貴重な体験をして帰国致しました。

また、2004 年から開始している高校生の国際競技「Global Enterprise Challenge (GEC)」には、全国から 41 校 29 チームがエントリーし、入賞した 3 チームのうち、世界大会で東京の混成チームが 3 位と大変健闘いたしました。第 17 回目の「ユース・エンタプライズ トレードフェア」でも、全国各地から 26 チームが参加し、展示&販売、プレゼンやミニ・ワークショップを通じて交流し、互いの取組みから学び合う機会となりました。これらの活動と並行して、文部科学省の「小・中学校等における起業体験推進事業」では、京都市・京都府（亀岡市・南丹市）と連携し、小・中学校でのアントレプレナーシップ育成の教育実践のモデルづくりを行っています。

2018 年度から小・中学校でも新学習指導要領の移行期間に入り、体験を重視したキャリア教育の一層の充実が求められなか、アントレプレナーシップ溢れる人材育成がさらに奨励されることを期待しているところです。

皆様には、当センター活動へのご理解とご支援を、引き続き賜りますことをお願いして、2017 年度の報告の挨拶とさせていただきます。

2018 年 5 月

特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター
理事長 原田紀久子

1. 事業理解を進めるための調査・研究・情報発信事業

▶ HP、ブログ、Facebook やメールマガジンでの情報発信

随時 HP やブログや Facebook に活動情報や報告を掲載。また、毎月 25 日に約 6,000 人にメールマガジンを配信。

HP アドレス : <http://www.entreplanet.org/>

ブログアドレス : <http://blog.canpan.info/entreplanet/>

Facebook アドレス : <https://www.facebook.com/entreplanet>

2. 事業推進のための講座開設（アントレ 20 周年事業）

▶ 堀商キッズチャレンジ：地域のキッズリーダー育成プロジェクト@堀川商店街

本事業は JT の NPO 助成や上京区民まちづくり活動支援助成を受け、小学生 4 年生くらいから中学生を対象に自分達の地域に誇りと責任を持って行動できるリーダーシップある子どもの育成を目的として実施しました。講座は、夏（8/1～6）、秋（10/1～12/16）、春（2/4～3/28）の 3 回、各 6 回開催しました。

活動では、子ども達が主体となって地域の賑わい作りに貢献する仮想企業「堀商キッズ社」を設立し、堀川商店街協同組合の協力を得て商店街の取材調査をし、地域の人達が交流するイベントの開催やお土産の製作・販売等を行いました。講座開催中は、ホームページでも活動を発信し、多くの人に取組み内容を広報しました。なお、本事業は、今年度も JT の NPO 助成を受け継続して実施する予定です。

<夏期講座：8/1～8/6>連続講座で行いました

8 月 5 日に夏祭りを開催し、誰もが楽しめる手作りのボールゲームや輪投げ、マジックショー、占いやビンゴをしました。最終日は、売上からお給料の支給もありました。



<秋期講座：10/1～12/16>10/1,10/15,11/5,11/19,12/3,12/10,12/16

堀川商店街を知ってもらうために、若い人が使えるお土産や配布できる商店街の地図や広報ビデオを作成し、12 月 10 日に京都大学で開催されたトレードフェアで出展・販売して広報活動を行いました。当日は特別賞を受賞しました。残念ながら、経費を引くと今回は収益がほとんど残らずお給料が出ませんでした。



<春期講座：2/4～3/28>2/4（日）,2/18（日）,3/4（日）,3/18（日）,3/21（水・祝）,3/28（水）

春には、若い子どもをターゲットに、3月21日に堀商キッズの春祭りを開催し、将棋やオセロなど誰でも楽しめるゲームに加え、商店街を楽しく回れるすごろくで遊んだり、西陣織体験ではコースターや腕飾りを作ったり、子連れのお母さんが休めるようにリラックススペースをつくってお茶を出したり、音楽を演奏しました。この日は、英語のチラシも作成したおかげで、大勢の外国人の方にも参加頂きました。3回のうちで一番収益が出たイベントになりました。最終日は、お世話になったお店の方に挨拶をして振り返りをした後は慰労会！



▶ キッズベンチャータウン～子どもが創る起業村

本事業は、10年後の未来を想定し、発展する科学技術やロボットとの協働を視野に、子ども達が考えた新しい仕事（ベンチャー企業）を創業し、その仕事を体験できる起業村「キッズベンチャータウン」を運営するというものです。講座では、AI(人口知能)やロボット等を使い最先端の技術により進化する職場について理解した上で、指導講師や学生サポーターの協力を得ながら、新しい事業について話し合いました。最終的に、7つのアイデアが残り、参加者達が内容を具体化しながら、キッズベンチャータウンの開催に向けて、ロボットのプログラミングに挑戦したり、VR用の動画を撮影したり、新しい社員を募集したり、展示用のポスターを考えたりしました。12月10日に開催した「キッズベンチャータウン」では、一般の来場者に加え、同時開催した「ユースエンタプライズトレードフェア」の出展者の若者達も大勢参加し、賑やかな催しとなりました。





2. 実践を後押しするための教材・教育プログラム開発や導入支援事業

▶ 京都起業家教育推進事業「ユースチャレンジ」プロジェクト

平成 28 年度より引き続き、2017 年度文部科学省「小・中学校等における起業体験推進事業」を京都府（亀岡市・南丹市）と京都市から委託を受け、小学校 4 校と中学校 2 校でモデル授業を行いました。

この事業では、小中学校において起業家教育のモデル授業を実施することにより、「起業家精神（チャレンジ精神、創造性、探究心等）」や「起業家的資質・能力（情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力等）」を有する人材育成の実践ノウハウを広く周知するとともに、地域に根ざし継続する起業家教育の実践モデルを構築することを目指しています。

<実施校>

1) 京都市立大宅小学校（6 年生 4 クラス）

大宅小学校では認定 NPO 法人環境市民に導入学習をして頂き、2015 年から 6 年生で環境をテーマに商品開発を行っています。生徒達はリサイクルできる材料を活用してエコ商品を開発・販売することで、環境に負荷をかけない生活の在り方や消費者としての視点を学びました。



2) 京都市立静原小学校 (2~6年生)

静原小学校では、地域の方に静原の現状や、地域に対する思いを聞き、静原についてより深く理解した上で、実際に地域の資源を活かした仕事をしておられる起業家の方のお話を聞きました。そして、それらのことを参考に、学校で育てているお米の商品化、間伐材を活用したマグネット・鉛筆立ての製作、静原地域の魅力を巡るウォークラリーの企画を行い、ネット教材「ユース・エンタプライズ」を活用し活動発信を行いながら、12月10日には京都大学で開催されたトレードフェアにて出展し、「京都中小企業家同友会賞」を受賞しました。その後、商品販売での収益を活用して、お世話になった地域の方を招待した感謝祭の開催を行いました。



3) 京都市立京都大原学院 (5~7年生)

京都大原学院では、5年生を中心に、6年・7年生がサポートする形で大原の新しいお土産商品の開発を行いました。専門家の方のお話を聞き、また「大原のイメージ」について観光客にインタビューするなどして、赤紫蘇を使ったお菓子を試行錯誤し、最終的には夏の「第7回大原料理コンクール」にて3位に入賞した「赤しそあんの花もちー」を商品化しました。12月のトレードフェアでは200個を完売し、その活動を評価され、一般来場者が選んだベストショップ賞を受賞しました。



4) 亀岡市立西別院小学校 (4年～6年生)

西別院小学校では、本年度も地域の方々の協力を得て、1年生から6年生が協力して米や野菜の生産活動を行い、4～6年生が中心になって、模擬会社「NISSI カンパニー」を運営し、起業家の講師の方の話を参考に、商品化・販売に取り組みました。この学校では、継続したこのような活動が評価され、第11回キャリア教育優良校として文部科学大臣表彰を受けました。



5) 京都市立修学院中学校

修学院中学校では、2002年から「起業家教育」を導入しており、2017年度も継続してこの起業体験推進事業を行いました。1年生では地元の一乗寺商店街に加え、市内の6つの商店街を調査・比較研究し、商店街を中心に地域が活性化するための提案をまとめる学習を行いました。2年生では4日間の職場体験を行うとともに、商店街等で活躍する起業家の講師に指導を受けました。秋の「一乗寺バザー」では、地域の商店街や学区の小学校と連携した生徒のアイデア商品や、店舗との共同開発商品を販売しました。



6) 南丹市立美山中学校 (2年生)

美山中学校では、地域の様々な活動を通して地域課題に積極的に参画する生徒を育成していくことを目標に起業教育を本年度から取り入れました。最初の取組みとして、美山の素晴らしい自然を活用して仕事を創ってこられた起業家のお話を聞いて、美山に賑わいをもたらす事業を自分達でも考え発表することをしました。次年度以降も同様の取組みを続け、生徒達が地域の自治に積極的に参画して行ける姿勢を養う予定です。



▶ グローバル・エンタプライズ・チャレンジ (Global Enterprise Challenge) 2017

Global Enterprise Challenge(GEC)は、若者の科学技術やイノベーションへの興味を喚起するために、高校生を対象に、2001年にイギリス、スコットランドで始まった国際イベントです。日本は2004年から当センターが窓口となって国内予選を主催し、世界大会に毎年代表チームを送って参りました。そして2016年からは世界大会の主催者として運営に関わっています。

2017年度は日本からは36チームの中から国内予選で選ばれた以下3チームが世界大会に出場し、混合チームが3位に入賞しました。

<日本代表チーム>

- ★KGIC:京都学園高等学校
- ★STSS:頌栄女子学院高等学校、桐蔭学園中等教育学校、渋谷教育学園渋谷&幕張高等学校
- ★Doshisha'Intl.:同志社国際高等学校

【世界大会】 5/21(日) 8:00AM-20:00PM

<課題 (challenge) >

「To design a system or service to utilize and/or store energy that does not directly produce electricity, and make that idea into a feasible working business model.」(直接電力を発生しないエネルギーを利用またはは貯蔵するためのシステムあるいはサービスを設計し、そのアイデアを実現可能なビジネスモデルにすること)

■参加チーム:14チーム(8か国)

■入賞チーム

- ★最優秀賞 (1位) : Cambodia-Japan Cooperation Center (カンボジア)
- ★優秀賞 (2位) : Cita Hati High School (インドネシア)
- ★3位 : 頌栄女子学院高等学校、桐蔭学園中等教育学校、渋谷教育学園渋谷高等学校、渋谷教育学園幕張高等学校 (混合チーム) (日本)
- ★特別賞 : Elite Educational Institute - Richmond / Burnaby Campus (カナダ)



主 催 : 特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

共 催 : Surya Institute

特別協賛 : 京都外国語大学、株式会社大貴、日本電産株式会社

協 賛 : 株式会社島津製作所、株式会社無有、ニチコン株式会社、日東薬品工業株式会社
株式会社堀場製作所

協 力 : 有限責任あずさ監査法人京都事務所、株式会社ジャフコ関西支社

後 援 : 経済産業省近畿経済産業局、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会
京都府私立中学高等学校連合会、公益財団法人全国商業高等学校協会、青少年と科学の会
(公益社団法人京都工業会、一般社団法人京都経済同友会、一般社団法人発明協会京都支部)
国立研究開発法人科学技術振興機構、独立行政法人国立高等専門学校機構

▶ ソーシャルリーダー育成・交流事業：Gerakan Mari Berbagi（共に分かち合おう）プログラム」

本事業は、次世代を担う若者達が、異なる文化・価値観への理解や多様な視点を培う研修機会を通じて、分かち合いの精神を持って社会に貢献できるリーダーに成長することを目的として、インドネシアと日本の両国において2014年から実施しているものです。

2017年度は、2017年の春に研修やホームステイで日本の学生達がお世話になったバリのスラット村にミニ図書館を設置するための資金調達活動を行い16万円の寄付金が送りました。その資金を現地でコミュニティ施設 Temawang Hub を運営している Dede Prabowo 氏に送金し、現地の学生達の今日お力も得て約500冊の本を Temawang Hub に設置することができました。

また、2018年の2月18日～3月17日まで現地で選抜されたインドネシア人研修生が7名来日し、ホームステイしながら、各自の興味ある以下の研修先にて働く経験を得ることができました。彼等の滞在中は、日本の学生やインドネシアの研修でお世話になった本プログラムの卒業生達が、交流のための食事会や寺社仏閣への観光案内などを企画・引率してくれました。事業終了後のアンケートからは、研修生だけでなく受入研修先の方々にとっても大変貴重な学びの機会となったことを主催者として喜んでおります。

<研修先>

- ・特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター
- ・京都市立養正小学校
- ・公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会（京都エコロジーセンター）
- ・大阪イノベーションハブ（大阪市）
- ・京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学
- ・合同会社ゆうあんビレッジ
- ・BlodgeLodge



主 催：特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

共 催：Gerakan Mari Berbagi 財団

助 成：公益財団法人双日国際交流財団、公益財団法人三菱UFJ国際財団

3.普及促進のためのイベント・セミナーなどの企画・運営

▶ ユース・エンタプライズ トレードフェア 2017 with キッズベンチャータウン

「ユース・エンタプライズ トレードフェア」は、アントレプレナーシップ教育を推進する実践を行っている小学校～大学の若者達が、日頃の取組を発表したり、交流したりしながら、その成果を共有する場です。今年で、17回目となる本事業は、今年は子どもの起業村「キッズベンチャータウン」と同時開催しました。

トレードフェアには、全国各地から26チーム（小学生4チーム、中学生1チーム、小・中学生2チーム、大学生19チーム）が参加し、小中学生による起業村「キッズベンチャータウン」は、ロボットを使った相談業務やVR体験、ロボットに負けない力をつける職業訓練など、10年後を想定した新たな仕事が体験できる場を子どもが主体で運営しました。

また、トレードフェアで例年授与される京都府知事賞は、特産の梅と米を生かした商品開発を行っている愛知県の知多市立佐布里小学校が受賞しました。

●京都府知事賞（社会貢献度が最も高かったチーム）

そうりっ子カンパニー（愛知県知多市立佐布里小学校）

（梅と米を使った「うめ子大福」や「梅ジャムラスク」を地元企業と共同開発）

賞品：カタログギフト「京もの愛用券」

賞品提供企業：京都府

●京都経済同友会賞（地域コミュニティに貢献度の高いチーム）

こねくたーず！（同志社女子大学）

（京田辺市キララ商店街にて、シルバー人材を使ったお化け屋敷を開催）

賞品：ソーラーチャージ付きLEDライト SONNENGLAS(ソネングラス)

賞品提供企業：一般社団法人京都経済同友会

●京都中小企業家同友会賞（ビジネスモデルに新規性や独自性の高かったチーム）

ラ・フォレ SHIZU（京都市立静原小学校）

（静原地域の魅力発信のための地元ツアーや間伐材を利用した商品販売）

賞品：ステンドグラスのランプ

賞品提供企業：京都中小企業家同友会

●異能工房賞（実際に起業するなら応援したいチーム）

あらーむ（目白大学）

（子ども向けの交通安全のVRビデオの作成・販売）

賞品：ソニーデジタルカメラ CyberShot

賞品提供企業：異能工房(コワーキングスペース)

●青少年と科学の会賞（ものづくりにおいて新しい発想があったチーム）

Riusa Caffè（近畿大学）

（コーヒーの豆カスを活用したオーガニックカップの作成）

賞品：STAR WARSの「R2-D2」を組み立て、無料のアプリで動かせるドroid・インベーター・キット

賞品提供企業：青少年と科学の会

●スチューデント賞（生徒が選ぶ一番よかったチーム）

赤阪ワールド（近畿大学）

（千早赤阪村の捨てられるマコモダケの葉を利用したマコモ茶の製造販売）

賞品：雑貨セット

賞品提供企業：よーじやグループ

●ベストショップ賞（一般来場者が選んだ一番よかったチーム）

大原の里（京都大原学院）

（大原特産の縮緬赤紫蘇を使った和菓子を企業と共同開発して製造・販売）

賞品：電子体温計 けんおんくん

賞品提供企業：オムロンヘルスケア株式会社

●特別賞

堀商キッズ社（堀商キッズチャレンジ）

（堀川商店街エリアの地図や若い人向けのお土産商品の開発・販売）

もろへい屋（共愛学園前橋国際大学）

（群馬特産のモロヘイヤで規格外のものを集めて製造した漬物の提案）

賞品：おめでとう三笠（各チーム 50 個詰め合わせ）

賞品提供企業：株式会社井筒八ッ橋本舗

●特別賞（キッズベンチャータウンのベストカンパニー）

にっこり屋

（ロボットを使った相談業務）

賞品：京都シネマ招待券

賞品提供企業：株式会社如月社（京都シネマ）

●奨励賞（参加生徒全員）

賞品：ジョイフルお食事券とドリンク券

賞品提供企業：株式会社ジョイフル



■協賛■

■寄付協賛：株式会社エスユーエス、株式会社エフタイム、京都信用金庫、株式会社島津製作所、株式会社ジョイフル、株式会社 SCREEN ホールディングス、株式会社大貴、株式会社無有

■広告協賛：株式会社井筒八ッ橋本舗、株式会社土井志ば漬本舗、よーじやグループ

■商品協賛：株式会社井筒八ッ橋本舗、異能工房(コワーキングスペース)、オムロンヘルスケア株式会社、株式会社如月社、よーじやグループ

■後援■

経済産業省、厚生労働省、文部科学省、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、一般社団法人京都経済同友会、公益社団法人京都工業会、公益財団法人京都産業 21、京都中小企業家同友会、一般社団法人京都発明協会、青少年と科学の会、京都府立高等学校 PTA 連合会、京都市 PTA 連絡協議会、京都府私立中学高等学校保護者会連合会、京都府私立中学高等学校連合会、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会、全国高等学校進路指導協議会、公益財団法人全国商業高等学校協会、日本キャリア教育学会、一般社団法人日本教育情報化振興会、日本社会科教育学会、特定非営利活動法人日本シミュレーション&ゲーミング学会

4. 起業や事業運営に関わる研修やコンサルティング事業

●「働くってどんなこと？～楽しく体験する”将来に向けての準備講座”～」

京都東ライオンズクラブの委託事業で、児童養護施設に入所する中・高校生達を対象にした将来に向けての準備講座を企画し、京都市中京青少年活動センターにて10月9日(月)10:30～16:30に開催しました。その後、参加者の希望に応じて、興味ある分野での職場体験をお靴屋、ドックサロン、保育園、車販売、菓子製造業等で行いました。



●大津市立葛川小中学校 教員研修会

大津市立教育委員会からの委託で、平成30年からアントレプレナーシップ教育を実践される大津市立葛川小・中学校にて、カリキュラムづくりのための教員研修会を3回(8月24日(木)、28日(月)、10月11日(水))講座で行いました。



5. メディア掲載等

- ・ 2017年7月13日 京都新聞「堀川商店街に「キッズ社」まちづくりに挑む」
- ・ 2017年8月2日 京都新聞「小中学生向け起業体験講座 左京で9日開講」
- ・ 2017年8月9日 NHK 京都放送「キッズベンチャータウン、子供の起業村」について放送
- ・ 2017年10月2日 京都新聞「お店の工夫教えて！ 堀川商店街店主に小中学生21人取材」
- ・ 2017年10月28日 KBS 京都テレビ放送「「学び舎の歌声 ～with a smile～」西別院小学校の取組を紹介」
- ・ 2018年1月13日 京都新聞「起業家的思考力 生徒ら学ぶ 美山中 地元の事業者招き授業」
- ・ 2018年1月24日 京都新聞「古里の魅力学ぶ模擬会社文部科学大臣表彰を受賞 地元産の商品開発、販売」
- ・ 2018年3月2日 京都新聞「インドネシアからのインターン生」
- ・ 2018年3月15日 KBS 京都テレビ放送「全校児童が社員 小学校が模擬会社」

活動を支えてくださった方々

Supporter

<協賛・助成団体>

 株式会社 大貴	株式会社 無有
 SHIMADZU Excellence in Science	
 Nidec 日本電産株式会社	
 エフタイム f-time	 地域とともに コミュニティバンク 京都信用金庫
 Restaurant Joyfull	 京都外国語大学 Kyoto University of Foreign Studies
 日東薬品工業株式会社 NITTO PHARMACEUTICAL INDUSTRIES, LTD	
 HORIBA Explore the future	
 National Institution For Youth Education 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 「子どもゆめ基金助成活動」	 ひとの ときを、 想う。 JT
 sojitz	公益財団法人 三菱UFJ国際財団

<その他の協賛団体>

株式会社井筒八ツ橋本舗、株式会社土井志ば漬本舗、よーじやグループ、異能工房、オムロンヘルスケア株式会社、株式会社如月社（京都シネマ） ヴイストン株式会社、有限責任あずさ監査法人京都事務所

<会員・賛助会員>

青山 和則、石塚 実、伊藤 剛和、岩田 晋一、大口 達夫、岡村 充泰、黒川 清、黒澤 敏朗、酒井 朋久、阪内 悠一、澤田 有紀、志賀 都子、首藤 晴美、白石 秀知、鈴木 三朗、谷孝 大、角田 隆太郎、中澤 弘、西川 昭寛、西岡 正子、橋本 徳子、濱野 康子、程 近智、真庭 功、宮崎 順子、森木 隆浩、井谷 千英、エリック ブレイ、太田 孝志、大平 亮佑、川井 国孝、木村 千佳子、佐竹 宏枝、下村 委津子、高嶋 利次郎、田中 絵里加、津崎 桂子、中井 明恵、中塚 祐起、中西 仁、中西 礼皇、中根 敏雄、西田 喜久夫、原田 利枝、平田 三樹子、藤原 未来、文能 照之、堀田 芳子、松田 稔樹、森 義晴、山口 栄一、山崎 真嗣、山本 桂子、横井 和彦

<ボランティアスタッフの皆様>

浅野 涼佳、太田 孝志、黒澤 敏郎、小林 章一、志賀 都子、下村 委津子、曾根 倅輔、田辺 直子、仲 愛里奈、濱野 康子、福田 貴子、藤原 未来、前田 桃花、宮脇 裕、百武 千賀子、矢野 愛佳、山口 裕子

2017年度 決算報告

Financial Report

平成29年度「特定非営利活動に係る事業」活動計算書

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	430,324	
賛助会員受取会費	90,000	520,324
2. 受取寄附金		
受取寄付金	1,954,288	1,954,288
3. 受取助成金等		
受取助成金	3,463,052	3,463,052
4. 事業収益		
教育教材開発・導入支援事業収益	3,714,212	
普及促進事業収益	723,100	
研修・講座事業収益	1,619,158	
その他	141,600	6,198,070
5. その他収益		
受取利息	205	205
経常収益計		12,135,939
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	6,613,385	
(2) その他経費	3,817,821	
事業費計		10,431,206
2. 管理費		
人件費	495,904	
(1) その他経費	1,120,870	
管理費計		1,616,774
経常費用計		12,047,980
当期経常増減額		87,959
III 経常外収益		0
IV 経常外費用		0
経常外費用計		
税引前当期正味財産増減額		87,959
法人税、住民税及び事業税		70,000
当期正味財産増減額		17,959
前期繰越正味財産額		19,375,408
次期繰越正味財産額		19,393,367

平成 29 年度「特定非営利活動に係る事業」貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	89,850	
普通預金	25,283,743	
立替金	4,139	
未収入金	100,000	
流動資産合計		25,477,732
2 固定資産		
保証金(敷金)	500,000	
固定資産合計		500,000
資産合計		25,977,732
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	1,676,355	
前受受益	200,000	
預り金	308,010	
流動負債合計		2,184,365
2 固定負債		
退職給与引当金	4,400,000	
固定負債合計		4,400,000
負債合計		6,584,365
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		19,375,408
当期正味財産増加額 当期収支差額	17,959	17,959
正味財産合計		19,393,367
負債及び正味財産合計		25,977,732

平成 29 年度「特定非営利活動に係る事業」財産目録

平成 30 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	現金手元有高	89,850	
普通預金	京都銀行西五条企業会館支店	848,433	
	京都中央信用金庫西大路五条支店	24,230,102	
	ゆうちょ銀行(当座預金)	205,208	
立替金		4,139	
未収入金		100,000	
	流動資産合計		25,477,732
2 固定資産			
	保証金(船越メディカルビル事務所保証金)	500,000	
	京都市中京区両替町通丸太町南入西方寺町160-2		
	船越メディカルビル 3F		
	固定資産合計		500,000
	資産合計		25,977,732
II 負債の部			
1 流動負債			
	未払金	1,676,355	
	前受受益	200,000	
	預り金	308,010	
	流動負債合計		2,184,365
2 固定負債			
	退職給与引当金	4,400,000	
	固定負債合計		4,400,000
	負債合計		6,584,365
	正味財産合計		19,393,367